



神戸女学院大学

LEARNING WITHOUT BORDERS

国際学部

グローバル・スタディーズ学科

2024年4月開設予定

LEARNING WITHOUT BORDERS

～境界なき学び～

グローバル化が進む現代において、文化社会的背景の異なる人々との共生は世界標準になりつつあります。Borders (境界) を形成しているのは国境だけではありません。言語、異文化、経済格差、ジェンダー、そして世代、これらもまた「わたし」と「あなた」を隔てる壁となり、一方で「わたし」と「あなた」に唯一無二のアイデンティティを与えてくれる要素にもなります。グローバル・スタディーズ学科では、境界を越えて共に学び、多様な背景を持つ人々が自らのアイデンティティに誇りを持って協働し得る、知識、感覚、実践力を育成します。主に修得するスキルは次の3つ。



コミュニケーションスキル

コミュニケーションは言語運用能力だけでは成立しません。大切なのは中身と姿勢。**共通言語としての英語**をツールに、人との対話に必要な**文化的感性**を養います。



ソフトスキル

自分らしく生きていくために必要な力、それは**Curiosity** (好奇心)、**Creativity** (創造力)、**Grit** (度胸)、**Contextual Thinking** (文脈的思考)、**Humanity** (誠実さ)。学びの過程でこうした**人間力**を身につけます。

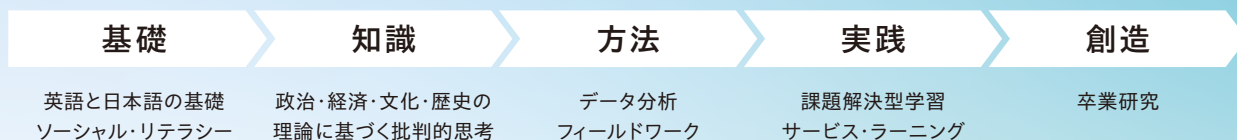


テクニカルスキル

AIの活用と共存が求められる現代、受動的な情報の消費者ではなく能動的な**デジタル技術**や**データ活用力**を習得しましょう。

カリキュラム概要

1年次から4年次までの流れ



SUSTAINABILITY STUDIES

持続可能な社会



国際関係、紛争と平和、貧困格差問題、環境問題等、SDGsを含むグローバル・イシューを学び、課題解決型学習を通じてその解決策を模索します。



CULTURAL STUDIES

文化理解

異文化に対する関心 (文化的感性) を養うと共に、内と外から日本を自覚して英語で発信する力を養います。

GENDER STUDIES

ジェンダー平等の
社会を目指して



ジェンダーをめぐる課題には政治、経済、文化、社会的要素が全て含まれ、さらに国内海外で多様な問題があります。ジェンダー不平等社会の当事者としての「生きづらさ」と「生き方」に向き合しましょう。

履修モデル

※ 赤字は必修科目
 ※ メジャー(専門)科目の教授言語は全て英語

「Sustainability Studies」系を中心とした場合

	1年生		2年生		3年生		4年生	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
コア 共通教育	第2外国語 体育学 キリスト教学 IT基礎演習	第2外国語 体育学 キリスト教学 IT応用演習 クローバーゼミ	キリスト教学					
オープン			ボランティア論 女性学			地域活性化論		
自由選択	初期神戸女学院	データサイエンス 入門	NPOマネジメント論 家族社会学			国際法	環境と法律	
メジャー	英語 Ia	英語 Ib	国際機関 Field Study			地政学	地域開発論	国際環境 政策論
	英語 IIa	英語 IIb	国際関係論	海外留学 (希望者)		人道支援論	平和学	
	English Proficiency	English Proficiency	持続可能性の 経済学			紛争研究		
	持続可能な 社会入門	グローバル文化 入門	アフリカ研究					
	グローバル都市 Field Study	食と文化の Field Study	アジア研究					
	世界経済入門	移民研究						
	キャリア&ライフ・ デザイン	海外生活 マナー講座				卒業研究 セミナー	卒業研究 セミナー	卒業研究 セミナー

「Cultural Studies」系を中心とした場合

	1年生		2年生		3年生		4年生	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
コア 共通教育	第2外国語 体育学 キリスト教学 IT基礎演習	第2外国語 体育学 キリスト教学 IT応用演習 クローバーゼミ	キリスト教学					
オープン			ヨーロッパ文化・文学 女性学			ジェンダーの 心理学		
自由選択	初期神戸女学院	データサイエンス 入門	日本文化史 心理学概論			日本アジア 関係史	食生活論	
メジャー	英語 Ia	英語 Ib	アジア Field Study			国際共修 ワークショップ	非標準言語	ユーモアと 会話分析
	英語 IIa	英語 IIb	グローバル人類学	海外留学 (希望者)		ビジュアル・ プロダクション	映像文化実習	
	English Proficiency	English Proficiency	ジェンダー論と 文化研究			日本のポピュラー・ カルチャー		
	持続可能な 社会入門	グローバル文化 入門	グローバル・ コミュニケーション					
	グローバル都市 Field Study	食と文化の Field Study	関西言語と文化					
	グローバル社会の なかの日本	スカンジナビア 文化						
	キャリア&ライフ・ デザイン	海外生活 マナー講座				卒業研究 セミナー	卒業研究 セミナー	卒業研究 セミナー

留学&実践プログラム

キャンパスの内と外の学びの「壁」も取り払おう!4年間のうち海外留学やフィールド・スタディ、サービス・ラーニングなど実践的学びへの積極的参加が期待されます。希望者は全員、海外留学が可能です。

主な海外留学先(提携大学)

[米国]ロックフォード大学/チャタム大学/カリフォルニア大学アーバイン校 他
 [英国]イーストアングリア大学/ニューカッスル大学
 [中国]広東外語外貿大学/揚州大学(中国)
 [韓国]淑明女子大学/徳成女子大学(韓国)
 [フィリピン]ミリアム大学/アサンブション大学
 [タイ]タイキリスト教大学
 [カナダ]ヨーク大学
 [豪州]南クイーンズランド大学

留学の詳細はこちら▶

<https://www.kobe-c.ac.jp/abroad>



フィールド・スタディ(授業)

【基礎編】グローバル都市フィールド・スタディ
 食と文化のフィールド・スタディ
 【実践編】沖縄フィールド・スタディ
 日韓フィールド・スタディ
 アジア・フィールド・スタディ
 国際機関フィールド・スタディ
 【応用編】国際共修(CIL海外コラボレーション)
 ライフ・ラーニング(企画実践単位認定型)



Shawn Banasick 教授
[学科長予定]



沖縄フィールド・スタディ報告会

物事の本質を見極める目を養い、 生涯学び続ける態度を身につけよう。

専門の人文地理学は、政治や経済、歴史など多角的な観点から地域の特性を明らかにしようとする学問です。そのモデルケースとして、米軍基地と沖縄の地元住民との関係性に特に注目し研究を行っています。

授業では、こうした沖縄だけでなく関西地域でも実際に調査活動を行うフィールド・スタディや国際関係科目のほか、昨今のフェイクニュースなどに対応できるデータ作成の知識やスキルを学ぶデータ・リテラシー科目を中心に担当。さまざまな角度から問題を探ることでCritical Thinking (=批判的、論理的思考) を養い、すべてが繋がっているグローバルな課題に対する理解を深めます。最終的には、Lifelong Learning、生涯にわたって学び続ける態度を身につけ社会で活躍してほしいと思います。

主担当授業：データ・リテラシー、国際関係論、沖縄フィールド・スタディ、国際環境政策論
キーワード：■ 人文地理学 ■ 国際関係 ■ 米軍基地問題

データの効果的な使い方を習得。 経済を英語で理解し発信力を鍛える。

社会の発展を妨げる大きな要因のひとつ、貧困。その解決のために貢献したいとの思いから、スリランカなど南アジア地域を中心に発展途上国の貧困の原因を探り、政策に反映できるような解決策を考える研究を行っています。

こうした研究成果を伝えるためには、結果がひと目で分かるグラフを用いるのがもっとも効果的。そのため授業では、データを見る目を養い使いこなせることを目標に指導を行っています。その上で、心理学的アプローチから考える行動経済学や政策に直結する政治経済学分野などの複合的な視点も加えて、経済学の面白さを伝えています。本学科の授業は英語で行われますが、大事なのは考えを“伝える力”を養うこと。積極的に発言し、英語で発信できる学生に育ってくださることを期待しています。

主担当授業：世界経済入門、経済データ・リテラシー、グローバリゼーションと持続可能性
キーワード：■ 開発経済学 ■ 発展途上国 ■ 貧困問題



山崎 幸治 教授



スリランカでの調査員トレーニング



米川 正子 教授
[2024年度着任予定]



コンゴ東部、国内避難民への聞き取り調査

難民問題から見える社会の課題を、 大きな枠組みで考え世界観を広げる。

難民キャンプが紛争国の兵士をリクルートする場になっているという事実は、日本ではあまり知られていません。そんな紛争地域が抱える課題を、国連職員として関わった経験をもとに、世界最悪の紛争地とされるアフリカのコンゴと隣国ルワンダのケースを例に研究しています。

現代社会では経済から環境問題に至るまで、さまざまな矛盾や格差が存在します。授業を通して、そうした問題の犠牲になっている弱者への共感を持ってほしいです。加えて、海外へのフィールド・スタディのような、実際に現地へ足を運び授業に参加することで世界観を広げ、人としても成長することを期待しています。Think Big (=大きな枠で物事を見る) をモットーに、一緒に学びましょう。

主担当授業：移民研究、アフリカ研究、国際機関フィールド・スタディ、人道支援論
キーワード：■ 平和学 ■ 難民 ■ 国際機関 ■ 紛争分析



南出 和余 准教授



Bangladesh・ファッション・フィールド・スタディ

授業を通して客観的な視点を養成。 “メタ認知力”が備わった人へ。

文化人類学的手法を用いて、 Bangladesh の村の暮らしに入り込み調査してきました。現在、 Bangladesh は世界の Apparel 産業の一大生産国となり、農村出身の若者の多くが都市や海外に出てそれらの仕事に従事しています。その現状を、本や論文だけでなく映像作品としても発信しています。

担当科目は、 Bangladesh はじめ多様で豊かな文化を持つアジアの国々の現状を現地では体感できる Asia Field Study、メディア・コミュニケーションの知識を学ぶメディア・リテラシーなど多岐にわたります。さまざまな学びを通して、自身や自身が所属する社会を客観的に見ることができる“メタ認知力”を養ってほしい。一歩踏み出す勇気を持つことで、自分の世界を広げてほしいと願っています。

主担当授業： グローバル人類学、メディア・リテラシー、アジア・フィールド・スタディ、映像文化実習

キーワード： ■ 文化人類学 ■ 映像メディア ■ 文化の多様性 ■ Bangladesh

社会言語学の世界を分かりやすく。 身近な題材から文化理解を深める。

社会言語学が専門ですが、日本語や英語などの言語と文化や社会との関係を探っています。本学科では、関西の言語と関西文化、言語とユーモアといった、言葉にプラスして身近な題材をテーマにすることで、社会言語学の世界に興味を持ってもらえるよう工夫し授業を行っています。

その中心となるのは、フィールド・スタディです。例えば、日本料理やイタリア料理などのシェフを訪ねて現場で直接講義を受ける。さらには、海外に飛び出して異文化に触れてみるなど、学生自身がどこかに出かけて実際に何かを体験することで、日本の伝統からグローバルな文化にまで興味が広がっていくことを期待しています。大学4年間は、人生を豊かにするための大いなる準備期間。本学科で幸せに生きる術を身につけてください。

主担当授業： 関西言語と文化、スカンジナビア文化、グローバル・コミュニケーション、ユーモアと会話分析

キーワード： ■ 社会言語学 ■ 言語と社会 ■ ユーモア ■ 少数民族言語



Goran Vaage 准教授



北ノルウェー、サーミ民族の集落でのフィールドワーク

時代によって変わるジェンダー観。 広い視点で捉えて弱者への共感を。

文化的、社会的な性別を指すジェンダー。その観点から、日本における近現代の歴史を研究しています。最近では、太平洋戦争終結後の混乱期に生まれた女子プロレスの歩みに興味を持ち取り組んでいるところです。

人々のジェンダー観は、時代の状況によって変化します。例えば女子プロレスであれば、女性の社会進出を象徴する“戦う女”のイメージで人気が出ますが、実は、当時の米ソ対立による冷戦構造にも強い影響を受けていた、といったことです。一見自由に見える現在の女性も、そして男性も、性別による役割に未だにとらわれています。その現状をジェンダーだけでなく広い視野で学ぶことで、性的マイノリティなど、より弱い立場の他者を自分ごととして思いやれる気持ちを持ってほしいと考えています。

主担当授業： グローバル社会のなかの日本、日韓フィールド・スタディ、日本のポピュラー・カルチャー、国際フェミニズム論

キーワード： ■ 歴史学 ■ 日本文化 ■ ジェンダー



瀬戸 智子 准教授



「ミソジニー」について講義

グローバル・スタディーズ学科が目指す人物&キャリア



境界なき学びを通して

「人と人をつなぐ人 *A leader who brings people together.*」を育てます

1年次から「キャリア&ライフ・デザイン」授業を通じて
生き方と向き合います

CIVIL SERVICE

国際機関、国家公務員、
地方公務員

国連はじめ国際機関で活躍する神戸女学院大学英文学科卒業生は多数。先輩からノウハウを学べます。また国内公務員試験対策は学外機関と連携してキャリアセンターがサポートします。

MEDIA

メディア関連

映像制作関連の授業で学んだ技術と英語力を生かして、ジャーナリズムの世界で活躍する卒業生も多数。通訳・翻訳プログラムと連携して在学中からプロの映画字幕翻訳を経験する機会もあります。

TRAVEL HOSPITALITY

航空業界関連

世界トップクラスの質の高いホスピタリティでサービスを提供する日本の航空業界でも神戸女学院大学英文学科の卒業生は大活躍。豊かな人間性とコミュニケーション能力が生かされます。キャリアセンターではエアライン講座も提供しています。

GRADUATE SCHOOL

大学院進学

リベラルアーツ教育で培われた広い視野と確かな英語力に支えられ、多分野に進学して研究者を目指す卒業生たち。本学にはそうして研究者の道に進んだのち母校に帰ってきて後輩育成に従事する卒業生教員も少なくありません。学内の大学院はもちろん、国内外の大学院大学への進学も十分狙えます。

英文学科から引き継がれるキャリアネットワーク

Student Voice

児玉 十代子さん



世界銀行は国連の専門機関のひとつで、発展途上国に対して融資や技術支援を行います。さまざまな国籍の同僚と一緒に相手国政府と交渉をするため、担当分野の高い専門性はもちろん、相手の立場や文化を敬うことも求められる仕事です。神戸女学院で叩き込まれた英語の基礎力と国際理解の精神は、今の仕事を支えてくれる原動力。また社会に貢献することの意義や、自分でも何かできると信じる心も、母校から学んだ大切なことです。

世界銀行 勤務
Senior Water Supply and Sanitation Specialist

樋口 恵莉奈さん



卒業してすぐ勤務した航空会社で、私は日々の業務を丁寧に正確に行う大切さを学びました。空港では一便一便を定時に出発させるために、様々な部署の方が携わっています。全ての部署が各々の業務に誇りと責任を持って働いているからこそ、飛行機は安全に飛行していることを実感しました。大学で身につけた英語力、空港で培われた実践力や仕事に対する姿勢が、現在の仕事に繋がっています。

日本航空 (JAL) ~
First Advantage Japan 株式会社 勤務

長谷川 璃紗さん



フィールド・スタディや卒業研究での映像制作を通して、「映像だから伝えられる力」に強く惹かれ、今起きている事をもっと分かりやすく伝えられる見せ方や構成を追求したいと思ひ、報道番組の映像編集者になりました。自分の編集した映像がお茶の間に流れ、何千万人の視聴者が見る。ミスが許されない常に大きなプレッシャーと責任を感じながらも、自分の作品を世に出せることは楽しいです。

株式会社フリー・フォーム・カンパニー 勤務

その他、国内外を問わず、グローバル企業やNGO等公益法人で活躍する卒業生ネットワークとキャリア個別指導により、旧英文学科では全国有数の高い就職率(2022年3月卒業生就職率**99.2%**)を誇ってきました。この財産はグローバル・スタディーズ学科にも引き継がれます。

入試情報

ホームページ(入試情報)をご覧ください。



学費および奨学金制度

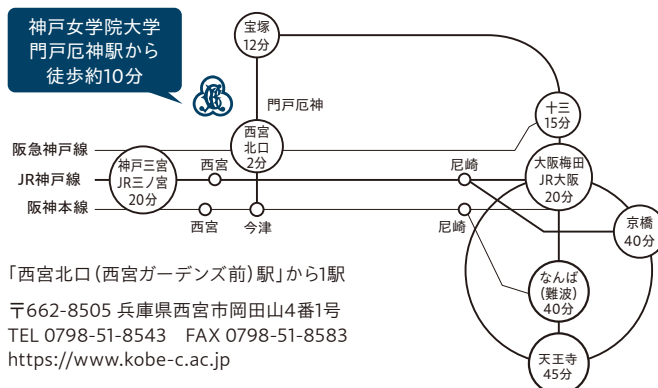
ホームページ(学費および奨学金制度)をご覧ください。



問い合わせ

神戸女学院大学国際学部
グローバル・スタディーズ学科(現英文学科)
✉ e-office@mail.kobe-c.ac.jp TEL 0798-51-8548

アクセス



「西宮北口(西宮ガーデンズ前)駅」から1駅
〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4番1号
TEL 0798-51-8543 FAX 0798-51-8583
<https://www.kobe-c.ac.jp>